

# 日本地球電気磁気学会会報 (第40号)

1969年6月15日

日本地球電気磁気学会

連絡先：東京都文京区弥生2-11-16

郵便番号 113

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 内線6476

振替 東京 4860

## 第45回総会並びに講演会後記

第45回日本地球電気磁気学会総会ならびに講演会は、5月28日から5月31日迄の4日間、理化学研究所大和研究所において予定通り開催されました。宮崎友喜雄大会委員長ほか、理化学研究所の皆様方の行き届いたお世話によって大変快い4日間を過ごさせて頂きました。

総計120篇の一般講演の申込みがあり、3日間は2つの会場に分れて講演が行われました。若干の取り消しがあり、実際には107篇の講演が行われ多くの参会者によって活発な討論が行われました。

3日目、5月30日には特別講演として、科学博物館 村山雅美氏「南極点旅行」と題して大変興味深い講演と映画を見せて頂きました。

特別講演に続いて、記念撮影、第45回総会が別項報告の通り開かれ、最後に上山弘評議員が会員を代表してこの総会ならびに講演会の一切のお世話をし下された、宮崎大会委員長はじめ理研の方々に対して感謝の言葉を述べられて総会を終了しました。総会終了後会議室で恒例の懇親会が、なごやかに催されました。

以上のような経過で4日間の大会を大変円滑に充実して終了することが、で

きましたことは、一重に大会をお世話下さった宮崎大会委員長始め、理化学研究所の皆様方の並々ならぬ御尽力の賜物であり、この紙面を借りて厚くお礼を申し上げる次第です。

## 第 4. 5 回 総 会 報 告

昭和 4 4 年 5 月 3 0 日 1 5 時 3 0 分 ~ 1 7 時 0 0 分

理化学研究所 大和研究所

和田雅美会員の開会の辞に続いて、木村磐根会員が力武委員長より総会議長に指名されて、総会が開始された。

1. 宮崎友喜雄大会委員長より、挨拶と歓迎の言葉が述べられた。
  2. 報 告
    - a. 新入会員紹介 5月27日までに入会された会員の紹介があった(別表参照)
    - b. 学会誌 TGG のバックナンバーのリプリント権を与えて欲して旨の願い出がオランダの Swets & Zeitlinger 社よりなされた。運営委員会で検討の末、承認することとなった。
    - c. 本学会は、事務所を東京大学理学部地球物理学教室に置いているが、同教室主任より、最近の人員増に伴う研究室不足を理由に事務所の移転を要求された。移転先について現在運営委員会で検討中である。
    - d. 学会誌 TGG は 21 卷 1 号がすでに発送済みで、21 卷 2 号が初校の段階である。
  3. 田 中 館 賞
    - 力武委員長より田島稔、若井登、庄野安彦の三会員に授与された後、次の3論文の審査経過の報告がなされた。
- 第 4 5 号 田島 稔氏「最近の磁気測定の精度、および日本における地磁

### 気永年変化の局地異常」

第46号 若井 登氏「夜間電離層E領域の構造に関する研究」

第47号 庄野安彦氏「造岩強磁性鉱物の結晶磁気異方性と磁歪」

4. 力武常次委員長より挨拶があり、今後約一年間に予定されている地球内部電磁気学に関する国際学会について説明があった。続いて委員長の紹介により大林辰蔵会員が宇宙空間関係の国際学会について説明した。(別表参照のこと)

### 5. 議 事

定足数112名を上回る123名(出席者78:委任状45)の出席者があった。

- a 43年度決算報告:西田運営委員より報告があり採決の結果承認された。  
b 44年度予算案:西田運営委員より説明、特に最近数年間の学会財政事情の悪化について何らかの対策の必要性が強調された。これに対して種々の議論がなされたが、運営委員会を中心に財政建て直しの積極策をとるようにとの要望が出され、採決の結果予算案は承認された。

#### c 規約改正

学会事務所移転には、事務所所在地を規定した現規約第4条の改正が必要である旨の説明が小口運営委員よりなされ、次のような改正案がはかれ、全員一致で可決した。

現行 第4条 本会は事務所を東京大学理学部地球物理学教室内に置く。

改正案 第4条 本会に事務所を置く、事務所の所在地は内規によって定める。

#### d 南極観測事業について

岩坂泰信会員より、自衛艦「ふじ」の使用とも関連して会員各自で南極観測事業の再検討を要望するという発言があった。極地研究所、南極でのロケット観測、軍学協同など多くの議論がなされたが、鶴田浩一郎会員より運営委員会としての見解を求められたのに対し、運営委員会としては、

今後この問題をどのように取り扱かが検討することになった。

○ 次期総会および講演会の開催地

斎藤運営委員より次期開催候補地として、名古屋大学理学部が提案された。これに対し、長島会員より趣旨に沿うよう努力する旨の発言があった。

6. 上山評議員より用意周到な講演会および総会の運営ぶりに対して、理化学研究所の皆様に謝辞が述べられ閉会した。

新 入 会 員

次の各氏が5月27日迄に本学会に新たに入会されました。

満保正喜	金沢大・工	上滝実	電通大
奥山良俊	秋田工業高専	白木正規	柿岡地磁気観
渡辺堯	名大・空電研	白畑洋	東北大・理
柿沼隆清	名大・空電研		
鷺見治一	名大空電研	Leroy R. Alldredge	ESSA
鈴木正明	秋田大・鉾山	Peter N. Shive	Stanford Univ.
遠藤源助	早大・理工	M. G. Morgan	Dartmouth Coll
丸山伸夫	東北大・理	S. V. Venkateswaran	Univ. Californ
桑島正幸	東北大・理	Donald E. Olson	Univ. Minnesot

昭和43年度決算報告

収入の部

前年度繰越金	1,318,051
長谷川基金繰越金	400,000
正会員会費	532,373
準会員会費	490,382
賛助会員会費	0
文部省助成金	220,000
預金利子	33,059
長谷川基金利子	12,000
予稿集売上	242,800
別刷代金	1,361,482
別刷交換会費	21,000
賞推薦事務経費(東洋レーヨン)	950

計 4,632,097

支出の部

第43回総会費	241,197
第44回総会費	201,255
会誌 J.G.G.	
20-1	254,144
20-2	247,960
20-3	430,887
20-4	620,730
会報等印刷費	180,280
通信郵送費	196,879
消耗品費	67,533
会合費	28,320
学会連合費	1,000
謝金	277,213
田中館賞々金	5,000
長谷川杯事業費	12,000
交通費	1,130
JGGマイクロフィルム作製費	102,000
JGG編集事務費	300,000
長谷川基金繰越金	400,000
繰越金	1,064,569

計 4,632,097

昭和44年度予算案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,064,569	第45回総会費	220,000
長谷川基金繰越金	400,000	第46回総会費	220,000
正会員会費	600,000	会誌 J. G. G.	
準会員会費	600,000	21-1	50,000
賛助会員会費	300,000	21-2	500,000
文部省助成金	220,000	21-3	500,000
預金利子	35,000	21-4	1,000,000
長谷川基金預金利子	22,000		
予稿集売上	240,000	(IAGA-IASPEI特集)	
別刷代金	1,600,000	編集事務費	270,000
別刷交換会費	23,000	会報等印刷費	180,000
IAGA-IASPEI出版費	360,000	通信郵送費	200,000
		消耗品費	60,000
		会合費	25,000
計	5,464,569	学会連合費	1,000
		謝金	275,000
		田中館賞々金	25,000
		長谷川杯事業費	220,000
		交通費	2,000
		長谷川基金繰越金	400,000
		繰越金	1,064,569
		計	5,464,569

今後開催予定の国際学会

学 会 名	主催機関	期 日	場 所
6th International Conference in the Physics of Electronic and Atomic Collisions	IUPAP	1969. 8	Boston (米)
International Conference on Mass Spectroscopy	MSS-Japan/AGMPCG- German/etal	1969.9.8-12	Kyoto (日本)
Colloquium on Planetary Atmosphere and Surface	URSI/IAU	1969. 8. 11 ~ 8. 15	Woods Hole (米)
Symposium on Multidisciplinary Studies of Unusual Regions of the Upper Mantle	IAGA/IASPEI	1969. 9. 8 ~ 9. 9	Madrid (スペイン)
Symposium on Geophysical Studies on the Evolution of the Earth's Deep Interior	IAGA/IASPEI	1969. 9. 10 ~ 9. 11	"
Symposium on Earthquake Mechanics	IAGA/IASPEI	1969. 9. 11 ~ 9. 12	"
Symposium on Geomagnetic Secular Change	IAGA	1969. 9.	"
Symposium on Aeronomic Ionization Processes Including Aurora and Aurora	IAGA	"	"
Symposium on Comparison of the Magnetospheric Behavior with Ground Observations and New Indices of Geophysical Activities	IAGA	"	"
Scientific Session on Digitization Techniques and Spectral Analysis of Geomagnetic Observations	IAGA	"	"
Scientific Session on Measurement of Extremely Weak Magnetization of Sedimentary Rocks	IAGA	"	"

学 会 名	主 催 機 関	期 日	場 所
Scientific Session on Global Composition Structure of the Thermosphere	IAGA	1969. 9.	Madrid (スペイン)
Scientific Session on Electric Fields in the Magnetosphere	IAGA	"	"
Scientific Session on Models of the Earth's Radiation Environment	IAGA	"	"
Scientific Session on Interaction of the Moon and planets with the Solar Wind	IAGA	"	"
Atmospheric Chemistry and Radio Activity	IUGG/IAMAP	1969. 8. 8 ~ 8. 13	Heidelberg (独)
Planetary Atmospheres	IAU	1969. 10.	Ft. Davis (米)
9th International Conference on Cosmic Rays	IUPAP	1969. 8	Budapest (ハンガリ)
Symposium on Chemical Aeronomy	IUGG	未 定	Bruxells (ベルギ)
URSI General Assembly	URSI	1969. 8 ~ 9	Ottawa (カナダ)
Inter Union Symposium on Solar Terrestrial Physics	IUCSTP	1970. 5	Leningrad (ソ連)
13th General Assembly of COSPAR	COSPAR	1970. 5	Leningrad (ソ連)
Symposium on Solar Magnetic Field	IAU	1970. Spring	Paris (仏)
Symposium on Currents and Fields in the Ionosphere and Magnetosphere	IAGA	1970. Summer	Boulder (米) Colorado
The Ocean World Joint Oceanographic Assembly	CMG/IUGG/ IABO/JAPO/ SCOR/IAGC	1970. 9. 14-25	Tokyo (日)



ユネスコ技術援助専門家等・募集のお知らせ

日本ユネスコ国内委員会では次の職種の国際公務員を募集しております。  
関心をお持ちの方は、学会事務所へ御連絡下さるか、返信用50円切手を同封  
して、直接日本ユネスコ国内委員会事務局に「応募の手びき」を請求して下さ  
い。(東京都千代田区霞が関3丁目2番2号 日本ユネスコ国内委員会事務局)

(1) ユネスコ技術援助専門家

ユネスコから発展途上国に派遣され政府機関等の顧問として、教育、科学、  
文化等の分野において助言指導する。

(2) ユネスコ本部・支分部局職員

パリのユネスコ本部または、ニューヨーク、バンコク等の支分部局で行政  
事務を扱う。

東京大学海洋研究所からの研究会ならびに  
外来研究員の公募について

東大海洋研究所長より昭和44年度研究会ならびに外来研究員の公募に関す  
る依頼がきております。詳細については下記へ御連絡下さい。(申込期限6月  
末日)

東京都中野区南台1-15-1

東京大学海洋研究所関係部門

TEL 03-376-1251(代)

## 借成学術奨励金

借成会より、昭和44年度学術奨励金募集の依頼がきておりますので、応募御希望の方は当学会事務所にて調書用紙をさし上げますので御記入の上、委員長あてに御提出下さい。選考の上借成会へ推薦いたします。(7月15日まで)

### 記

#### 贈呈要領

金額	総額 300万円
員数	人文科学および自然科学の両部門から各若干名。
審査	日本学術会議の研究費委員会に委嘱して行なう。